

# 関西シニア会 会報

発行人 中村省二 海旅業界関西シニア会

〒540 大阪市中央区北浜東1-8 ダイナース ワールド トラベル 日本駐在事務所内

1997年5月8号

## 第8回 海旅業界関西シニア会 総会開催される

### ご挨拶

会長

中村省二



古都、奈良二月堂のお水とりの行事は、近畿地方に住む私達にとりましては単に仏事としてだけではなく、冬から春への季節の移り変わりの節目として古くより語り継がれて参りました。

そのお水とりの行事も終り、日増しに暖かく、春めいてくる今日この頃です。

メンバーの方々にも、今年は出来るだけ屋外で共に健康に過ごしていただきたく、各委員の方々にはご配慮頂き数々の行事の企画をお願い致しました。各行事への多数のご参加を期待致しております。

最後になりましたが、メンバーの皆様方のご健康と更なるご活躍を期待し、ご挨拶とさせていただきます。

### 総会のご報告

去る2月14日(金)午後5時30分よりホテルグランヴィア大阪の名庭の間に於て第8回の総会が開かれました。例年1月に実施していましたが、同月は新年会等が多く重複を考慮し今年は2月に実施を試みました。その結果52名の多数の出席が得られ盛大な総会となりました。

会議は高山氏の司会で中村会長の挨拶に始まり、午後6時30分終了。小休憩、引続いて恒例の懇親夕食会に移り、盛り沢山の料理に舌づつみを打ちつつ久方ぶりの再会に話はずんでいました。その後、抽選会が行われ参加者の半数の方が賞品を獲得し家路に着されました。

総会での議題は次頁の通りとなりましたのでお知らせします。



# 総会報告

## 1) 予算制度の実施と各行事について

事務局 辻 村 脩

当会の維持・運営上の経費は、今迄発生ベースで支出されていましたが、ハイキングやその他に新しい部活動も予定されており、又消費税のアップもあり、今年度は経費増が予想されます。従って、今年度から予算制度を取入れ、年中行事を洗い直して参加者が極端に少ないものや、多額の出費を要し少額の補助金では意味がない様なものは、補助金を止める一方クラブ活動とし実施するゴルフや技術をともなう競技部は、部活動として部員のみで連絡することとし通信費を削減して行く。又音楽・ハイキング・懇親会や親睦旅行等技術をともなう競技部は、多数参加出来る様に全員に案内状を送り親睦の輪を広げて行きたいと考えております。

## 2) 幹事の変更

ゴルフ部会：牧野 宏氏 → 早瀬 久義氏  
岡本 久夫氏

ハイキングクラブ（新設）：高山 嘉明氏（兼任）

## 3) 新規入会者のご紹介

平成8年下期

寺西 徹氏 大阪トラベル  
松田 恒雄氏 神戸YMCA学院（元JTB）  
矢野 福敏氏 日本エアシステム大阪店  
柏木 茂孝氏 JTB大阪北浜支店

平成9年入会

笹山 敦由氏（元TWA）  
高原 忠視氏（元日通航空）

## 4) 平成8年度行事報告と9年度の行事予定

（各部会報告の欄4頁をご参照下さい。）

## 5) 決算報告と予算案

会計幹事 雌 次 郎

下記、決算報告書にもとづき各項目の説明が行われた後、引続いて平成9年度予算案に付き各項目毎に説明が行われた。

自 平成8年1月1日  
至 平成8年12月31日

### ○ 決算報告書

平成9年1月15日  
作成者 雌 次 郎

右記内容監査の結果、正確に  
会計処理が行われていること  
をご報告します。

平成9年1月21日  
監査役 福 井 安 司

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総会パーティ費	529,914	入 会 金	7,000
部会活動補助費	124,000	年 会 費	480,000
通 信 費	109,475	総会パーティ参加費	415,000
印 刷 費	148,938	前 期 繰 越 金	366,169
消 耗 品 費	0	受 取 利 息	110
慶 弔 費	10,000		
雑 費	620		
計	922,947	計	1,268,279
次 期 繰 越 金	345,332		
合 計	1,268,279	合 計	1,268,279

### ○ 予算案（平成9年度）

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総会パーティ費	500,000	入 会 金	5,000
部会活動補助費	* 180,000	年 会 費	480,000
通 信 費	80,000	総会パーティ参加費	415,000
印 刷 費	150,000	前 期 繰 越 金	345,332
消 耗 品 費	5,000	受 取 利 息	100
慶 弔 費	30,000		
雑 費	5,000		
計	950,000	計	1,245,432
次 期 繰 越 金	295,432		
合 計	1,245,432	合 計	1,245,432

#### \*部会活動補助金内訳

1. ゴルフ部会 20名参加 年2回 = 40名×1,000 = 40,000
2. 旅行部会 30名参加 年1回 = 30名×1,000 = 30,000
3. 音楽部会 10名参加 年2回 = 20名×1,000 = 20,000
4. 夏季パーティ 40名参加 年1回 = 40名×1,000 = 40,000
5. トレッキング 50名参加 年1回 = 50名×1,000 = 50,000

計 180名×1,000 = 180,000

## 6) 監査報告

上記決算報告に関して福井監査役より監査結果は全て正確に処理されているとの発言があり、出席者全員で決算報告、予算案は承認されました。

# 各部会報告

## 音楽部

### 平成8年度音楽鑑賞会報告と平成9年度行事予定

幹事 高山嘉明

平成8年4月13日(土) 18:30～ ザ・シンフォニーホール

○大阪フィル・ポップスコンサート 指揮 宮川彬良

・オーケストラでピアノの名曲

亜麻色の髪の乙女(ドビュッシー)、エリーゼのために(ベートーベン) ピアノソナタ「悲愴」(ベートーベン) 他

・ポップスソング

スカボローフェア、明日に架ける橋、ディズニーシンフォニック、上を向いて歩こう 他

参加者7 会員 11名

軽妙な会話を交えた指揮者宮川彬良の楽しいアレンジで肩のこらない楽しい演奏会でした。

平成8年10月12日(土) 18:30～ フェスティバルホール

○マントバーニーオーケストラ

慕情、バラ色の人生、大いなる西部、カルメン組曲 他

参加者6 会員 10名

我々の青春時代を思い起こさせるなつかしのマントバーニーサウンドに映画のスクリーンが二重映しになる秋の夜長のムードミュージックでした。

### 平成9年度の予定(一回毎に会員お一人1,000円の補助があります)

本年度サマーズーン鑑賞会としてポピュラーとクラシックを2候補ずつ提案しますので、ご希望順位をお知らせ下さい。最少催行人員は各10名とします。

- A. 6月1日(日) 14:00 フェスティバルホール S 6,800 A 5,800  
ヘンリーマンシーニオーケストラ(ムーンリバー、ピンクパンサー、シャレード 他)
- B. 6月28日(土) 17:00 ザ・シンフォニーホール A 5,000  
大阪センチュリー交響楽団(ビゼー“カルメン”、ドビュッシー“牧神の午後への前奏曲” 他)  
プロムナードコンサート
- C. 7月6日(日) 14:00 フェスティバルホール S 6,000 A 5,000  
ビリーボーン楽団(浪路はるかに、夕日に赤い帆、峠の幌馬車 他)
- D. 8月24日(日) 17:00 フェスティバルホール A 5,000  
大阪フィル3大交響曲の夕べ(未完成、運命、新世界より)

## ハイキングクラブ

### 平成9年度ウォーキング・ハイキング予定(年一回毎に会員お一人1,000円の補助があります)

幹事 高山嘉明

1. 6月14日(土) 森林植物公園と布引の滝 11km 神鉄 谷上駅 10:00  
(あじさい) 山田道～森林植物公園～修法ヶ原～布引の滝～新神戸駅
2. 7月26日(土) トンネルウォーク 11km JR 生瀬駅 10:00  
旧福知山線廃線跡(トンネル) JR 武田尾駅
3. 9月28日(日) 水無瀬溪谷 11km 阪急 水無瀬駅 10:00  
水無瀬～若山神社～山吹溪谷～JR山崎
4. 10月26日(日) 二上山ウォーク 12km 近鉄 当麻寺駅 10:00  
当麻寺～岩屋峠～二上山～屯鶴峯～関谷駅
5. 11月23日(祝日) 六甲山全山縦走 56km 山陽 須磨浦公園駅 5:30  
(紅葉) 須磨浦公園～全山縦走～宝塚温泉

- ・当日の天候で降水確率30%以上の場合は中止します。
- ・はきものはトレッキングシューズの履き慣れたものでご参加下さい。
- ・申込みは、高山宛 郵送かFAXでお申込み下さい。1か月前にリコンファームをします。

大阪市中央区久太郎町3-2-10 山善ビル

(株)アイテック 高山

TEL: 06-245-5102 FAX: 06-245-5019

## ゴルフ部

### 1996年の実績と回顧

幹事 牧野 宏

#### ○ 第13回 ゴルフコンペ開催

平成8年4月17日 神戸ロイヤルパインズゴルフ倶楽部  
4組16人参加 優勝 正田展祥  
準優勝 河辺虔三  
3位 上島正生

#### ○ 第14回 ゴルフコンペ開催

平成8年11月21日 能勢カントリー倶楽部  
5組18人参加 優勝 石丸賛治  
準優勝 中村省二  
3位 河辺虔三

今回は、ゴルフコンペの技量の争いとは別に、幹事の趣味と特権で参加者全員を競馬に見立て、競馬を実施いたしました。大変に好評でしたので、今後も続けたいと思います。年度当初の計画では、ハワイゴルフツアー又は、旅行会と合同でもう一回くらいゴルフコンペを予定しておりましたが、残念ながら実現出来ませんでした。

私事で大変恐縮ですが、12月の人事異動で、現在の日航ビジネス大阪支店から、外部に出向する事になりました。異動に伴い、ゴルフ部の幹事の仕事が、残念ながら、続けることが出来なくなりましたので、幹事を辞任させていただきます。

尚、側面からのご協力は従来どおり、出来る限りさせていただきます。

従って、1997年度の計画と展望については、新幹事に委ねるべきところではありますが、敢えて、小生の原案を申し上げれば、今年度こそハワイのゴルフツアーの実施、更に旅行部との合同プランを含めて、年間3回くらいはゴルフコンペを開催したいと思っております。

(注)「上記の通りゴルフ部幹事の牧野氏の転任にともない新幹事として早瀬氏並びに岡本久夫氏をお願いすることになりました。新幹事の97年度の運営方針と計画は次の通りです。」

ゴルフ部新幹事 早瀬久義

前任の幹事の牧野さんが職場が変わられて時間の余裕がつかないので幹事を辞退され、私が幹事のご指名を受けたのですが、私も忙しい事では相当なものなのですが、自分の事業所なので何とかやりくりをつけて皆さんのお役に立ちたいと思い幹事を引受けさせて頂きました。私はこの海旅業界とは10年前から全く縁の無くなった人間ですが、若い頃の仲間や先輩達がなつかしく、シニア会には設立当時より入会させて戴いており、ゴルフコンペの皆勤賞を戴き幹事のご指名を受けた訳です。シニア会の中でゴルフ部が一番隆盛の様ですが、今後ゴルフライフを一層おもしろく充実したものにしたいと思っております。それについて下記の様な制度を作りましたのでご諒解下さい。

- ・各自ハンディ制を取り入れる。
  - ・優勝カップ取りきりカップを贈呈する。
  - ・ゴルフ部オフィシャルな大会は春秋2回とする。
  - ・秋の大会は国内旅行と合同で一泊の予定で遠征する。
  - ・大会以外に研修会を希望者のみ大会以外年3、4回設定する。
- ※ハンディその他規則は各メンバーに配布する。

今年の春の大会は、高槻カントリークラブで過去最高の20名の参加者で3月27日(木)既に行われました。

主な成績は次の通りです。

	GROSS	H.C.	NET
優勝 高橋謙治	96	27	69
2位 石川隆二	97	28	69
3位 雌次郎	95	25	70

秋の大会は9月27日・28日(ゴルフプレー)に国内旅行と合同で岡山県湯之郷温泉へ遠征。作州武蔵カントリーでプレーの予定です。詳細は追ってお知らせします。

研修会の方は5月下旬及び10月中旬並び忘年コンペを12月上旬にて予定致します。

## 旅行部

### 平成8年度の行事報告と平成9年度の予定

幹事 石原友雄・辻村 脩

平成8年度の懇親旅行は海外を一度やろうと云うことになり、エアカナダ石丸支店長のご協力を得てヴァンクーバー・ビクトリア5月7日発、4泊6日の旅を企画募集しましたが、集客状況かんばしからず延期となりました。再び秋にアメリカンの中村支店長のご協力を得て、アメリカンのダイナミックツアー、ヨセミテ・トレッキングツアー5泊7日コースを相乗りで実施した結果、2グループ(10月4日発)に6名参加一般客4名を加え出発、又(10月8日発)は、メンバー2名にその家族5名友人5名、計12名で催行されそれぞれにダイナミックなヨセミテ溪谷の大自然を満喫し、サンフランシスコに入り、先発組はゴルフを、又後発組は米国海軍記念日の航空ショーを楽しみ帰国されました。

平成9年度は、6月に海外旅行ハワイ4泊6日マウイ・ホノルルの旅を、又9月27・28日の1泊2日で湯の郷温泉の旅を企画しており、ゴルフ・倉敷観光いずれかを楽しめる様にオプションツアーを組入れております。ご夫婦ご家族共々のご参加をお待ちしております。

# 会員便り

## ヨセミテ国立公園のハイキングツアーを終えて

中村省二

去る10月、上記ツアーに福井、古藪両夫妻と共に参加した結果をまとめてみました。

ヨセミテ国立公園はサンフランシスコの南東250マイル、自動車で約4時間の所に位置し、ピークシーズン中（5月より9月の終わりまで）はサンフランシスコより日帰りの観光バスも出ている。しかしハイキングで自然をより楽しむためには、公園内での3～4日間の宿泊が望ましい。

10月4日出発の我々6名は、他の一般参加者の4名の方々と共に、成田からアメリカン航空でサンノゼ空港へ、そこからチャーターバスにてヨセミテ公園へ向け出発。途中昼食のため約30分の休息後、公園内のトンネルビューポイント経由で夕刻、3泊するカーリーヴィレッジに到着。チェックインの後、各自キャビンに移動するが、ポーターの数も少ないので、スーツケースの運搬も「自分のことは自分で」の4日間の生活が始まる。

公園内での宿泊施設は、高級なアワニーホテルを除けばヨセミテヴィレッジとカーリーヴィレッジの両地区に分かれており、一般的には両地区ともテント（キャンバス）とキャビンが使用されている。テントは勿論、キャビンも大部分はウィズアウトバス・シャワーで、パブリックの共用シャワー及びバスルームを使うことになる。我々も今回これにお世話になった。

食事は両ヴィレッジ共セルフサービスのカフェテリアが営業しているが、朝、昼、夕と時間が限られており、特に夜は8時までの注意。この時間に遅れた人のためにハンバーガー及びピッツアのショップがカーリーヴィレッジに、ヨセミテヴィレッジの方にはレストランがあって夜9時頃まで営業している。またゼネラルストア、スーパーマーケットなどでは日用品の他、スナック、サンドウィッチなども販売しており、ハイキングに出かける前に買って行くと便利。

公園内でのアクティビティについては、随所に数

多くある変化に富んだトレイルのハイキング、乗馬、レンタサイクル及びサイトシーイングトロリーによる公園内の周遊と、色々なみどころがある。また公園内は無料のシャトルバスが運行されており、施設間、ツアー及びトレイルの入り口までの移動も簡単。

我々のプランは到着2日目に足慣らしのためミラーレイクの周遊、3日目にトップ・オブ・ヨセミテフォールへの登頂であったのだが、予定を変更して、2日目に食料品などを仕入れて10時前にヨセミテフォールのトレイルに出発した。きつくて登頂できなかった参加者も出たけれど、後日考えてみれば各自の体力的な問題を別とすれば、時期として異常に暑く（インディアンサマーで連日35度を超す暑さ）、盛夏の服装をして登らなかったことと、少しでも早く（8時頃に）出発して涼しい時間に登頂を始めれば、全員登頂出来たのではと残念に思う。

3日目、我々シニア会のメンバーは前日の疲れをとるために、ゆっくりと朝10時過ぎにミラーレイクの周遊に出かけ、途中野外で昼食をとって1日中のんびりと遠近の自然の景色を愛でながら、カーリーヴィレッジまで行程約12kmのハイキングを楽しんだ。同行の若い2人は早朝出発してハーフドームの登頂と、さすが若さには勝てないなと感心した1日でもあった。

4日目はマリポサの森経由でサンフランシスコに移動。サンフランシスコでも3泊してゴルフ及びナパバレーのワイン工場ツアーを楽しみ、命の洗濯をさせてもらった8日間であった。

また来年度も企画されると思いますので、初心者の方、中級者の方はトップ・オブ・ヨセミテフォール、また上級者の方はハーフドームにトレイル遊びと、ハイキング好きの方はぜひご参加を。ヨセミテは夜の星空の美しさも満喫出来る自然公園です。

## サッチモとの出会い

石原友雄

旅行会社に勤務して38年、若い頃はよく海外へ添乗員として出かけた。入社して4～5年目だったか、初めてヨーロッパ旅行の時である。ローマ空港で荷物が出てくるのを待っていた。ふと見ると同じように待っているアメリカ人のグループが居る。黒人が多いな、と思っていると一人の顔が目に入った。“サッチモ”だ。写真でよく見る厚い唇、おおきな目。ジャズファンにとっては神様のような存在だ。思わず近寄った。遠く離れたローマ空港で、当時は珍しいほうに入る日本の青年が寄ってくるので彼もめずらし気に私の顔を見る。思わず「ミスター・アームストロングですね」と言うと、彼はにっこり笑ってあのしわがれ声で「イエス」。荷物が出てくるまで大事な同行のお客様のことをすっかり忘れてサッチモと会話を交わした。

「ジャズが好きなんだ」と言うと「明晩コンサートがある。入り口の受付に言っておくから、良かったら聴きに来ないか」と言ってくれた。その内に荷物が出てき始めた。添乗員の仕事に戻らねばならぬので、そのままサッチモと別れ、空港からホテルに向かう。幸いにして次の晩は団体の予定はない。ホテルでコンサートの場所を調べ、開演30分前に着いた。半信半疑、入り口の受付で「ミスター・アームストロングのメッセージはないか」と聞くと即座に「ミスター・アームストロングが言っていた日本人とはあなたのことか」と用意してあったらしい切符を渡してくれるではないか！嬉しさの余りその女性にチップを渡すのも忘れてしまっ

た。最初にサッチモがステージに現れた時、こちらを見て笑ってくれたような気がしたが、そのまま彼の世界に引き込まれてしまった。圧倒されっぱなしの三時間。最後は例によって“セイント”で締め括られた。

終演後、ひとこと御礼をと思って楽屋へ行こうとしたが、サッチモのプレイに酔ったものすごい数のイタリア人の壁に遮られてそれも果たせず、心を残しながらホテルに帰ったのは深夜の1時頃だった。その夜は興奮の余り、まんじりともできなかったことを覚えている。

これが私の海外で最初に聴いたジャズのライブだった。



## 情 報

事務局 樹 重 信

最近インターネットに代表されるように巷には色々な情報が満ちあふれている。我々旅行業界にとっても情報の重要なことは言うまでもない。発信される情報にも気がつかない意外なところに役に立つものがあり、仕事をしていく上でこれら情報を如何に活用させるかがポイントとなる。

二十数年前の昭和45年3月31日は小生の韓国転勤辞令交付の日で、この日は偶然にも淀号がハイジャックされた日でもあった。この淀号が着陸したソウルがテレビや新聞などで盛んに報道され、その地名が日本人の頭の中にインプットされその後の観光産業にプラスになったのである。それ迄は日本における韓国情報は、ただ南北の緊張のみが紙面などで伝えられていた程度で、韓国の文化や名所旧跡を紹介するものは皆無に等しかった。このため小生自身も半分おっかなびっくりで5月半ばに赴任したが、小生を歓迎してくれたのは最も気候の安定したソウルの天候で街には黄色いけなりの花が咲き乱れ街全体が長かった冬から開放された

喜びに浸っているように感じられた。その後、小生の趣味と実益のため暇さえあれば昼は現地の寺院、美術館、夜は歓楽街など手当たり次第に探索し、今まで知らされていなかった韓国の文化にふれる機会を得た。

この情報を日本の旅行業界の人々に一時帰国したときに東京で業界の方々に会議の席上で30分ほど話をし、その結果日本からのサーベイチームが小生の情報を目で確認していただいた。結果47年頃にはソウルに日本人観光客があふれるようになった。

以上は一見旅行とは何の関係もないハイジャックによる情報と現地からの観光情報がうまくミックスされその受信者がマーケットを作り上げた例である。

このように何も役に立たないと思われる情報が受信する側にとって必要なものである場合があり、シニア会ももっと会員相互の情報交換の場となるべきで、ともすれば一方通行の情報となっている現状を皆で見直すべきではなかろうか。

## 事務局だより

事務局 辻 村 脩

昨年以來、趣味の部活動の拡大をはかるべく、皆様をお願いしておりましたが、やっと今年から高山氏がハイキングクラブを設立し、募集を始めましたので是非ご自身の健康維持の為にも多数のご参加をお願い致します。

他に囲碁クラブの設立も西尾氏（JTBワールド）をお願いし平成8年度の会報に掲示したように有志を募る一方、碁会所や指導者も探して頂き、大変ご苦勞をお掛けしましたが、参加希望者も少なく中止することになりました。西尾様のご好意に感謝致します。

一つこの機会にご自身の持っておられる特技や趣味を生かし、同好会やクラブを設け会員間の交流を深めて下さい。事務局幹事一同もお手伝い致しますのでよろしく。

最後に8年度ゴルフ幹事を務めて頂いた牧野宏氏はこの度神戸駿台ホテル観光専門学校に出向の為、止むを得ず幹事を辞退されることになりました。本当にご苦勞様でした。今後もコンペには是非出席しメンバーと友情を深めて下さい。